

ボランティア活動報告

仁愛女子短期大学

栄養研究サークル

生活科学学科 食物栄養専攻 2回生

橋本 鮎美

栄養研究サークルでは毎年「もりた夢市」で手作りパウンドケーキを販売してきました。今年は11月1日に森田小学校の体育館で開催されました。毎年メンバーが変わるので、今年はおいしく作れるか不安もありましたが、皆で試作をして先生方の意見をいただいたおかげでなんとか全てのパウンドケーキを作ることが出来ました。

今年はパウンドケーキ（マープル、ココア、プレーン、サツマイモ、カボチャ）の他にシフォンケーキも焼き、種類を多く作りました。

本番当日は全部売り切れるのか不安でしたが、開始と同時にお客様がたくさん来てくれました。その中には仁短祭で買えなかったから楽しみにして来てくれたお客様や、おいしかったといってまとめ買いしてくれるお客様がいてあっという間にすべての商品が無くなり、嬉しかったのと同時に売り切れの早さにびっくりしました。売り切れてしまって、足を運んでくださったお客様にお売りできなかったこともあり、来年は今年よりも多く作ってたくさんの方々に喜んでもらえたらと思います。

この活動を通して達成感や充実感を得ることができ、地域の輪の広がりを感じることができました。売る側も買う側もとても生き生きと楽しそうにされていて、夢市に参加させていただき、私たちもとても楽しく活動させて頂くことができました。森田地区の方々はとても優しくあたたかく接していただき、輪に入れてくださいました。本当にありがとうございました。



ユネスコサークル

生活科学学科 生活情報専攻 2回生

松川 葵・宮川奈緒美

私たちの主な活動は、本校の学校祭時に行う募金活動を中心としています。学校祭時に活動する理由は、仁愛女子短期大学の教職員から学生、その他の学生で多くの人が集まることから、呼びかけやすいと考え活動しています。

この募金活動に参加して二年目になりますが、去年の反省点である活動時間が短すぎたこと、事前に募金活動をするということを知ってもらえていなかったことを踏まえて取り組みました。模擬店でにぎわう中、大きな声で呼びかけても伝わりにくいこともありましたが、手に持っている募金箱に注目してくれた方はたくさんいました。そしてその際に「募金をお願いします！」と呼びかけ、一人でも多くの人々の心に「少しでも募金をしてみようかな」という思いが生まれてほしいと取り組みました。自分がエルパなどで歩いているときに見かける、「募金をお願いします」と呼びかけをしている人の大変さは全く気づけなかった去年とは違い、今年はまた一段とみんなが気持ちを切り替えて取り組めたことだと思います。

クラスが一丸となり募金の呼びかけをしたこの二年間は、とても貴重な経験となり、大変さだけではなく、人の温かさにもふれることができた活動となりました。（写真は「ふくいユネスコ総会」で感謝状を戴いた時のものです。）



パソコンボランティアサークル

生活科学学科 生活情報専攻 2回生

友寄 未菜

仁短パソコンボランティアサークル（以下、パソボラ）がスタッフとして協力していた、鯖江市社会福祉協議会（以下、社協）主催の「障がい者のためのPC相談会」は2014年度末で終了しました。しかし、参加する障がい者の方の相談会継続への熱意が強く、パソボラが鯖江市福祉ボランティア連絡協議会（以下、ボラ連）に加盟し、2015年度からは同相談会を主催することにしました。ボラ連に加わったことより、毎年10月に社協で開催する「さばえボランティアまつり」への協力を求められ、仁短コーナー（①バルーンアート制作、②ARで動く塗り絵）を企画・運営しました。その他、福井市総合ボランティア開設準備室からの依頼で、福井市ボランティアネットの使いやすさ等に関して、座談会を開催しました。

さばえボランティアまつりではバルーンアートとAR塗り絵を担当しました。以前、福井市のハピリンフェスにおいて、卒業研究の田中ゼミとして同じ内容のボランティアを行いました。ハピリンフェスではちびっ子たちがたくさん遊びに来てくれました。今回のボランティアまつりでは、おじいちゃんおばあちゃんが「私たちでもできる？」と興味を示し、幅広い世代の方たちとふれあうことができました。その中で、耳が聞こえない方（ろう者）の「ハロウィンのかぼちゃを作って欲しいという手話をボランティアの方が通訳され、試行錯誤しながらなんとか完成させてプレゼントしたところ、とても喜んで大きなジェスチャーで感謝を表現してくれました。言葉がなくてもバルーンアートを通して、心が通じ合えたことがとても嬉しく、今でもその人の笑顔が忘れられないです。その方だけでなく私たちのブースに来てくれた皆さんが笑顔で帰られたように思うので、「ボランティアは大成功！短大生活の素敵な思い出です。

生活科学学科 生活情報専攻 2回生

清水和佳奈

パソボラが社協・鳥羽事業所で開催する「障がい者のためのPC相談会」において、私はいつも目が不自由な方と一緒に音声読み上げソフトが入っているPCを利用して、ニュースを読んだり、CDを作成したり、メールを送ったりしました。最初は目が余り見えない方にどのように声掛けすればいいのかが分からず苦戦していましたが、パソコンを教えるだけではなく、色々なお話をしながら距離を縮め、あっという間に3時間経ってしまうまでになりました。教える立場ですが、逆に教えられることばかりで、相談会の間に自分のパソコンに関する知識が増え、人見知りだった私も少しずつ人と話すことが好きになりました。このサークル活動を通して、これからもボランティアなどに積極的に参加し、障がい者の方だけではなく色々な人のサポートができるようになりたいと思いました。これから社会人になってもサークルでの学びを心に留めて頑張りたいと思います。



折り紙サークル

幼児教育学科 2回生

山本 紗愛

おりがみサークルでは、定期的に福井大学医学部附属病院小児科の入院病棟プレイルームに飾る壁紙作りをしています。また、フェニックスプラザで行われた消費者まつりや公民館などでの折り紙教室も行いました。



消費者まつりでのボランティアでは、クリスマスやお正月が近かったということもあり、クリスマスツリーやこま、ナイロン袋で凧を作れるようにするなど、季節を感じることができるようになりました。子どもから大人の方まで楽しんでもらえました。

折り紙を通して、たくさん話をしてくださる方もいて、私たちが教えるだけでなく、子どもや大人の方から「こんなものもあるよ」などと折り方を教えてもらうなど私自身も勉強になることがたくさんありました。折り方を把握しておいても、教えるということは難しいと感じるところもありました。ですが、折り方を把握しておいたということもあり、上手に教えることが出来ました。教える前には、実際に折って折り方を把握しておくという準備も大切であるということ学びました。



これまでたくさんのボランティアをしてきて、折り紙を通してコミュニケーションがとれたり、完成した折り紙を見て、喜んだりし

ている姿をたくさん見ることができて良かったです。また、折り紙に触れることが少なくなってきた中、多くの人に折り紙に親しんでもらえるような機会が大事であるということ学びました。

ボランティアサークル

幼児教育学科 2回生

澤 加奈

ボランティアサークルでは、決められた日時に図書館に行き様々な活動をするとともに、県内のイベントや学校行事にも積極的に参加してきました。

図書館での活動としては、子どもを対象として、どの人数でも、どの年齢でも楽しめるような絵本や遊びを提供しています。また、その季節にあった（クリスマスや七夕など）折紙・制作をしたりしています。土日に行っているということもあり、親子で参加される方もたくさんいらっしゃいます。親子のふれあい遊びをすると、皆さん楽しんでくださっているように思います。このボランティア活動を通して、私たちは子どもとの関わりだけでなく、子育て支援についてもたくさん学ぶことができました。